

2008 年春

通算第 15 号、本年第 1 号

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 会員の皆様への会長レポート..... | 1 |
| IFTA 会員協会ニュース..... | 4 |
| IFTA 会員協会..... | 8 |
| 2008 年理事会..... | 8 |
| 2009 年度版 IFTA ジャーナル 投稿のお願い..... | 9 |
| 出版契約..... | 10 |
| 2009 年 IFTA ジャーナル料金表..... | 11 |

「IFTA Update」は、1986年に法人登記された非営利の職能団体、国際テクニカルアナリスト連盟 (www.ifta.org) の刊行物です。

編集局

国際テクニカルアナリスト連盟
15245 Shady Grove Road, Suite 130
Rockville, MD 20850, U.S.A.

Eメール: admin@ifta.org

会員の皆様への会長レポート

大変嬉しい報告がございます。IFTAではこのたび、ルーマニア・テクニカルアナリスト協会 (AATROM: *Asociatia Analistilor Tehnici din Romania*) を新興協会として迎えることになりました。ダン・アルク (Dan Alcu) 氏が会長を務めるAATROMは、2007年6月に設立されたルーマニア初のテクニカルアナリスト協会です。AATROMの現役首脳部は、ピュジョール・オプレアン (Bujor Oprean) 常任理事、オビデュ・セルダン (Ovidiu Serdean) 副会長、および、広く読まれているAATROM会報

『TrendWatch』の編集者、ダイアナ・ネグラット (Diana Negrut) です。AATROMでは5月16~18日に国内会議を開催する予定です。ルーマニア近辺にお住まいの方はAATROM会員までお問い合わせください。

過去数か月にわたり、事務局長のカレン・ハッチソンと会員サービスマネージャーのリンダ・バーネティックに多くの方からご連絡をいただきました。カレンとリンダは多くの仕事の引き継ぎを受けることができ、理事会で継続中の計画をガイドし、管理できるようになりました。

CFTe の申し込み手続きをされた方はすでにリンダをご存知かもしれません。春のCFTe試験の登録管理を一手に引き受けて、きわめて忙しく働いています。新しい書式の作成、電話やメールによる質問への回答、試験会場の手配、25箇所を超える世界中の会場で使用される個別の試験問題の準備 仕事は大規模で、しかも多岐にわたります。さらに、リンダとカレンは、オンラインによる登録・支払いのシステム、および試験データベースを完成しました。CFTeプログラムの利用者は増えていますが、これで、会員協会、受験者、IFTA事務局のいずれにとっても登録と管理が容易になります。

大変嬉しい報告がございます。IFTAではこのたび、ルーマニア・テクニカルアナリスト協会 (AATROM: *Asociatia Analistilor Tehnici din Romania*) を迎えることになりました。

最近の受験者の方々は、『IFTA Update』のページ数が増えただけでなく、検定プログラムのステータスにふさわしいものとすべく、検定証のデザインが変わったことにも気づかれたかもしれません。検定証のデザイン変更の一環として、IFTAのロゴも新しくなりました。新しいロゴには創立メンバーによるオリジナル・デザインの特徴がすべて継承されており、評判も上々です。



これを可能にし、検定証、IFTAロゴ、そしてこの『IFTA Update』というIFTAの「顔」を更新してくれたジョン・ベンジャミン (Jon Benjamin) に感謝します。

今号には、『IFTAジャーナル』への投稿のお願い(2009年)も掲載されています。レジャイナ・ミーニ (Regina Meani) が編集した2008年号は、会員や関係者の中で好評を得ました。追加注文が続いています。「投稿のお願い」に加えて、レジャイナによると『IFTA Journal』の2009年版には書評も掲載されるそうです。書評を載せたい方、または書評を希望する書籍を推薦なさる方は、レジャイナまでご連絡ください。

地理的に広い地域にメンバーを持つ協会の中には、『IFTA Journal』の郵送費を心配する意見がありました。この問題を解決するために、IFTA理事会では、印刷所から個人会員に直送できないかどうか、また、その場合の費用について検討します。これが実現した場合、協会への直送と個人会員への個別郵送のどちらかをお選びいただけるようになります。検討の結果は追ってお知らせ致します。

『IFTA Journal』は、フランス協会 (AFATE: Association Francaise des Analystes Techniques) が主催する第21回IFTA年次会議までには

刊行される予定です。会議場は、パリの「メリアン・エトワール」ホテル。AFATEの会議担当者とジュリアン・ネベンツァール (Julien Nebenzahl) 会議委員長が懸命に準備を進めているフランス会議は、間違いなく画期的なIFTA会議になることでしょう。講師と申し込み手続きの詳細は、数週間以内に公表されます。最新情報を希望される方は、<http://www.iftaparis2008.com/> にアクセスしてメーリングリストにご登録ください。

このレポートの冒頭で、ルーマニア協会 (AATROM) 加盟のニュースをご紹介しました。この新会員を加えると、世界中のIFTA会員は26か国を超えます。近年におけるIFTAの成長を祝うこのとき、創設会員のひとつである日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA) が、来たる4月(原文のママ)に東京で30周年の

記念会議 (第30回) を行います。重要な創設会員であるNTAAの30周年記念会議の際に、IFTAは祝辞と感謝の言葉を贈ります。記念会議では、以下の祝辞が朗読されることになっています。

日本テクニカルアナリスト協会の皆様へ

本日、NTAA が 30 周年の記念式典を迎えられたことについて、IFTA を代表して敬意を表しますとともにお祝いを申し上げます。

本日会場にお集まりの皆様の中には、NTAA がなければ IFTA は生まれていなかったであろうこと、あるいはここまで大きな組織になっていなかったであろうことをご存知ない方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。NTAA を IFTA の産みの親に喩えることは決して誇張ではありません。その理由を少しばかり申し述べたいと思います。

始まりは 1984 年に、NTAA の幹部の方が、ニューヨークを拠点とするマーケット・テクニシャン協会 (MTA) のラルフ・アカンボラ氏およびジョン・ブルックス氏とお会いになられたことでした。このときの MTA の幹部と NTAA の幹部の方々によるインフォーマルなミーティングで、IFTA の構想が生まれたのです。

このミーティングの結果を踏まえて、NTAA の皆様のご尽力によって、テクニカル分析の分野では世界で初めてとなる国際的なセミナーが開催されました。今振り返れば、このセミナーこそが IFTA の萌芽でした。セミナーには、MTA、英国の STA、サンフランシスコ・テクニカル証券アナリスト協会、そして新たに創設されたカナダ・テクニカル分析協会から参加がありました。



各国から多くの人々がセミナーに参加したことで、テクニカル分析の技術やアイデア、あるいは展望には、国境や文化や言語の壁が存在しないということが明らかになりました。というのも、テクニカル分析に携わっている人たちは、皆共通の言語で話していたからです。

セミナーが開かれたのち、NTAAのご支援と励ましによって、1986年にIFTAが結成されるに至りました。

その後の1988年に、現在まで続くIFTA総会の第一回目が、NTAAの主催によって開催されました。初のIFTA総会は大きな成功を収めました。知識の共有や人脈の形成が図られるとともに、多くの刺激を与えてくれました。その日から数えて20回もの年次総会が世界中で開催されるまでになっています。

2001年にはNTAAの現名誉会長である岡本博先生がIFTAの理事長に就任されました。既にその時点でIFTAはテクニカル分析のコミュニティから認められるだけの存在となっていました。岡本名誉会長のご指導によってIFTAはさらに成長を遂げるとともに、極めて高いレベルでの情報交換や手法開発が会員の間で進められ、さらに、テクニカル分析の資格認定制度の整備が図られていきました。

現在、IFTAはあらゆる地域に広がる26の関連団体と7,000名を超える会員によって構成されています。すべてはNTAAのエネルギーとビジョンから始まったのです。

1985年にカリフォルニアでの少人数のミーティングで生まれたアイデアは、形となって東京で記念碑となるセミナーが開催され、IFTAの創設が推進され、テクニカル分析の初めての国際会議が開催され、そして現在では、世界中の団体やこの

分野に携わっているすべての方々に継続的にサポートするまでになっているのです。¹

幹部の皆様を始めとするNTAAによって種が蒔かれたIFTAは、今ではフランス、クウェート、ニュージーランドといった地域に会員協会が開設されるまでに成長を遂げています。NTAAはテクニカル分析の発展に寄与されるとともに、世界に広める役割を果たされてきました。

最後に、IFTAはNTAAのさらなるご発展を祈念するとともに、日ごろのご支援とご厚情に感謝を申し上げて、私の挨拶と致します。

IFTA 理事長
エレイン・クヌース

以下、「日本テクニカルアナリスト協会の皆様へ」の原稿の和訳文が掲載されているが、ここでは省略する。

IFTA 会員協会ニュース

JTAS

2008年5月17日(土)午前9時から午後9時までの日程で、JTASが第1回ヨルダン・テクニカルアナリスト年次会議を行います。場所はモーベンピック死海リゾート。テーマは、「アンマン証券取引所および国際株式市場におけるTAを用いた収益戦略」。チケットのご予約は、+962 6 5658419 までお電話ください。

トレバー・ニール (Trevor Neil) 講師・トレーナー

- 1990年代にメリルリンチで商品トレーダーを務める。
- LIFFEでテクニカルアナリストとして場立ちを支援。
- ブルームバーグで主任テクニカルアナリストを務める(2000年)。
- トレーナーおよびテクニカル分析ソフトウェアの開発者。

マーチン・J・プリング (Martin J. Pring) 講師・トレーナー

- 国際的なテクニカルアナリスト
- 『バロンズ』で「テクニシャンの中のテクニシャン」の呼称を得る。
- 代表的な著書として、『Introduction to Technical Analysis』、『Market Momentum』、『Technical Analysis Explained』がある。
- マーチン・J・プリングの書籍はCFTe試験の学習ガイドとして使われている。

マーク・ガラシスフスキー (Mark Galasiewski)、Elliott Waves International社 講師

- Elliott Waves International社のテクニカルアナリスト。
- グローバル市場の視点から、アジアおよびアジア太平洋の株式市場に関する月報を全世界に配信している。

AATROM

2007年6月の発足以来、AATROMの会員(正会員と賛助会員)は90名まで増えました。

AATROMでは2回目の半期会議を2008年5月16~18日の日程でメディアシュ(トランシルバニア)にて開催します。テーマは、「資本管理とリスク管理 ポラティリティの高い市場で生き残るためのガイド」です。会議では、リスクを最小限に抑え、資産を守り、殖やすための戦略について論じます。ルーマニア、イギリス、ハンガリーからテクニカル分析の専門家を招いてTAの国際的なイベントが行われるのは、ルーマニアでは今回が初めてです。

現在の市場の混乱に対応すべく、また、トレーダーや投資家の啓蒙を進めるために、AATROMでは1月に「トレードプラン 市場におけるあなたの生命保険」という催しを開始しました。この催しでは、市場における資産とリスクを守るためのシンプルなたちの保険を構築し、利用する方法について学ぶ機会をトレーダーや投資家に提供します。

VTAD

Vereinigung Technischer Analysten Deutschlands e.V.は移転しました。新住所は下記のとおりです。
VTAD e.V.
Hochschildstr. 21
D-60435 Frankfurt am Main
Germany
連絡先: マイケル・シュナイダー (Michael Schneider)
電話 /FAX番号、メールアドレスに変更はございません。

AAPTA / TSAASF

2008年4月18~19日、カリフォルニア州サンフランシスコのマリーンズ・メモリアル・ホテルで行われる「時代を超えたセミナー:

AAPTA/TSAASF 会議」に出席するご準備を。市場が重要な節目を迎えているこのタイミングで、別格のテクニカルアナリストから話が聴ける10年に一度の機会です。この会議はすぐに満席となることが予想されます。

詳細はwww.aapta-us.org or www.tsaasf.orgにてご確認ください。

ホテル

AAPTA/TSAA年次会議は、4月18~19日にカリフォルニア州サンフランシスコのマリーンズ・メモリアル・クラブ&ホテルで行われます。

このブティックホテルは、ユニオン広場のすぐ近くにある1920年代のボザール(Beaux-Arts)ビル内にあります。4/17(木)、4/18(金)、4/19(土)の3泊は、AAPTA会員用に40室が予約されています。標準的な宿泊料金は1泊\$179で、デラックス・ルームが\$194です。料金はフルアメリカン・プラン。全宿泊客共通の屋上レストランでの朝食が含まれています。お問い合わせはお電話(800-562-7463「AAPTA会議」とご指定ください)またはメール(reservations@marineclub.com)にて承ります。

参加費の\$365にはすべてのお食事が含まれています。\$160の配偶者料金には、金曜日と土曜日の夕食代が含まれています。金曜の夕食はホテル、土曜の夕食は「アルフレッド・ステーキ・ハウス」の予定です。

会議の日程

2008年4月18日（金）

午前8:00 ~ 8:30

朝食

午前8:30 ~ 9:45

ラリー・マクミラン
ボラティリティとボラティリ
ティ・デリバティブをテクニカ
ルツールとして使う方法

午前9:45 ~ 10:00

休憩

午前10:00 ~ 11:15

リンダ・ラシュキ
枠組みの基本: スイング、横ば
い、高時間軸

午前11:15 ~ 正午

CME プラチナ・スポンサーの
プレゼンテーション

正午 ~ 午後1:30

ドン・デルティスとのランチ
景気循環と金融循環から見た
米国の将来

午後1:30 ~ 3:00

トム・マクレラン
流動性の波

午後3:00 ~ 3:30

休憩

午後3:30 ~ 5:00

ネルソン・フリーバーク
パフォーマンスの高いタイミ
ング・モデルの構築: 機能する
モデルと機能しないモデル

午後6:30

AAPTAアワード、社交・晩餐会、
講演（マリーンズ・メモリア
ル・ホテルにて）

2008年4月19日（土）

午前7:45 ~ 8:15

朝食

午前8:15 ~ 9:30

ウォルター・マーフィー
RNエリオットとESCコポック
併用が最適

午前9:30 ~ 9:45

休憩

午前9:45 ~ 11:00

リチャード・ピーターソン
行動ファイナンス

午前11:00 ~ 午後12:15

デイビッド・ヴォマンド (David
Vomund)
相対力に基づくETFトレードシ
ステム

午後12:15 ~ 1:45

ランチ、ポール・デズモンドに
よる基調講演
テクニカル分析の将来

午後1:45 ~ 3:00

スタン・エールリッヒ
KISS トレード判断を複雑
にするな

午後6:30

ディナーと交流の時間（サンフ
ランシスコのアルフレッド・ス
テーキ・ハウスにて）

講師

ポール・デズモンド

テクニカル分析の将来（土）

Lowry's Reports, Inc.社長。同社は、テクニカル分析を使用する国内最古の投資顧問会社。Lowry'sが投資顧問業の分野で特にユニークな点は、過去75年間にわたり、需給法則にのみに基づく分析をまったく同じ方法で続けてきたことである。購読会員の約85%がプロの投資家で、そのうち20%近い会員が25年以上購読を続けている。

ドン・デルティス

景気循環と金融循環から見た米国の将来（金）

独立系の金融資産管理・顧問会社であるOrrell Capital Managementの会長。経営者としてウォールストリートで活躍してきたほか、欧米の銀行、企業、投資信託会社、資産運用業者にて、プロの資産運用者、講師、ライター、顧問として務めてきた。これまで、『ビジネスウィーク』、『タイム』、『ニューヨークタイムズ』など、多数の有名な金融誌 / 紙にインタビュー記事が掲載されてきた。また、ナショナル・エコノミスト・クラブ（ワシントンD.C.）、ニューヨーク証券アナリスト協会、マーケット・テクニシャン協会（MTA）、Groupement suisse des Conseils en Gestion Independents（スイス、ジュネーブ）などの団体でプレゼンテーションを行ってきた。大統領選キャンペーン中のレーガン氏に、内外の政治経済問題についてブリーフィングを行った。レーガン政権の時代には、ホワイトハウスの参謀、SEC委員長、SECコミッショナー、国家安全保障会議、國務省にブリーフィングを行った。

スタン・エールリッヒ

KISS トレード判断を複雑にするな(土)

FXトレードファンドSolid Gold Forex Fund LP(合名会社)社長。同ファンドのチーフ・ポートフォリオ・ストラテジスト兼チーフ・トレーダーも務める。1971年にシカゴ先物取引所の外交員として先物業界に入る。1978年、チャート上でトレードのサイクルを測定するエールリッヒ・サイクル・ファインダーというツールを発明。今では、投資産業における最古の物理的なテクニカル分析デバイスとなっている。ロバート・プレクター、Beatrice Foods Corpなど、多くの傑出したアナリストや企業を対象にブローカーを務めてきた。活字、投資関連書籍、テレビなど、金融界で見解が広く引用されている。1975年以来、世界中のテクニカル分析セミナーや会議で講師を務めている。講演は延べ約100回に上る。

ネルソン・フリーバーク

パフォーマンスの高いタイミング・モデルの構築：機能するモデルと機能しないモデル(金)

ネルソン・フリーバーク氏は、株式、債券、商品向けのタイミング・モデルを構築・テストする金融ニューズレター、『フォーミュラ・リサーチ』の編集者。同氏が25年前に投資を開始した時は、コロンビア大学のPh.D.課程で勉強中だったが、まもなくトレードと市場調査にフルタイムで取り組むようになった。そして遂に、19世紀まで遡って検証できる金融データベースを構築する。このデータベースからシステムティックなタイミング・モデルのライブラリが生まれた。1991年にはフォーミュラ・リサーチ社を設立。同社で少数精鋭のトレーダーに研究成果を伝授した。現在、同社は27カ国の機関投資家と個人投資家に情報

を提供している。

トム・マクレラン
流動性の波(金)

1995年以来、父親のシャーマン・マクレランと共に『マクレラン・マーケット・レポート』を月2回発行してきた。1998年には日刊版を追加した。ウェストポイントの陸軍士官学校を卒業後、軍用ヘリコプターのパイロットを務めた。マクレラン・オシレータとSummation Indexの生みの親であるシャーマン&マリアン・マクレランの子息。陸軍在籍中にテクニカル分析を独自に研究し、市場の転換点を予測するために両親の指標を発展的に利用する方法を案出した。1993年、陸軍を退職し、新しい仕事として父親と共にテクニカル分析に従事する。

ラリー・マクミラン

ボラティリティとボラティリティ・デリバティブをテクニカルツールとして使う方法(金)

ローレンス・G・マクミランは、株式とインデックス・オプション戦略に関するベストセラー、『Options As a Strategic Investment(戦略的投資としてのオプション)』の著者。現在、ユニークな日刊顧問サービス『Daily Volume Alerts(日々出来高のアラート)』を執筆。また、株式、インデックス、先物オプションを網羅するデリバティブ商品のニューズレター、『The Option Strategist(オプション・ストラテジスト)』の編集・刊行も行っている。こうした立場で、自らが1991年に設立したMcMillan Analysis Corporationの社長を務める。米国、カナダ、欧州で行われる多くのセミナーで、オプション戦略について語ってきた。さらに、ヘッジファンドであるHardel Volatility Arbitrage Fundのポートフォリオ・マネージャを務め、自身の口座でも積極的にトレードを行う

ほか、オプション指向の口座を少数預かって管理している。

ウォルター・マーフィー

RNエリオットとESCコボック併用が最適(土)

メリルリンチの市場分析部門に24年間勤めてきた。重点的に取り組んでいるのは、国際市場、金利、商品、ドル。1984年7月以来、『The Elliott Wave and Time Cycle Update(エリオット波動とタイムサイクルの最新情報)』を刊行してきた。メリルリンチに入社する前は、スタンダード&プアーズで株式のファンダメンタル・アナリストおよび調査部長を務めた。

リチャード・ピーターソン

投資家の脳内：お金にマインドパワーを利用(金)

チャード・L・ピーターソン(M.D.)は、MarketPsy Capitalの経営メンバー、『Inside the Investor's Brain(投資家の脳内)』(Wiley, 2007)の著者、『Journal of Behavioral Finance(行動ファイナンス)』誌の副主筆、スタンフォードで訓練を受けた神経科学研究者、金融ソフトウェア開発者で、精神分析医でもある。投資心理学の応用について、資産アドバイザー、ポートフォリオ・マネージャ、トレーダーを含め、世界中の金融関係者を対象にトレーニングや講演を行ってきた。同氏の著書は『バロンズ』から「卓越している」との評価を受け、『Kiplinger's』では「2007年の投資関連ベスト書籍」の1冊として推薦されている。現在、自身の資産管理会社MarketPsy Capitalを通じて、金融ニュースの言語分析に基づく市場予測ソフトウェアを開発中。同社のフラッグシップとなるヘッジファンドは2008年7月に開始予定。

リンダ・ラシュキ

枠組みの基本: スイング、横ばい、
高時間軸 (金)

リンダ・ブラッドフォード・ラシュキは、LBR Group, Inc. 社長、正規登録されたCTA、また、LBR Asset Management 社長で、CPOも務める。現在、Granat Fund, LLCの経営にも携わる。同社は2004年にトレードを開始した。ラシュキは、1981年に株式オプションの裁定取引を行うマーケットメーカーとしてトレードの仕事を開始した。最初は太平洋岸証券取引所のメンバー、後にフィラデルフィア証券取引所のメンバーとして取引を行った。1993年以来、

現在もCTAで、先物、通貨、株式を対象とするマルチ戦略プログラムを販売している。Managed Futures Association、ブルームバーグ、国際テクニカルアナリスト連盟、マーケット・テクニシャン協会 (MTA)、カナダ・テクニカルアナリスト協会、TAG、Futures Conferenceで研究のプレゼンテーションや業界レクチャーを行ってきた。1990年代半ばには、ダウジョーンズ / テレレート社のエージェントとして16以上の国で講義を行った。

デイビッド・ヴォマンド (David Vomund)

相対力に基づくETFトレードシステム (土)

ETFポートフォリオの管理を専門とする投資顧問会社、Vomund Investment Management (www.ETFportfolios.net) 社長。AIQ Systemsに17年間勤務し、好評の教育ニュースレター『Opening Bell』を執筆した。『ETF Trading Strategies Revealed (ETFトレード戦略)』を上梓。『Technical Analysis of Stocks & Commodities』誌の1999年10月号にインタビュー記事が掲載された。

IFTA2008

第21回 IFTA 年次会議

IFTA  2008

第21回IFTA年次会議

2008年11月6～8日

メリディアン・エトワール・ホテル (フランス、パリ)

第21回 IFTA 年次会議は 2008 年 11 月 6～8 日。
パリでお会いしましょう。

2008年11月6～8日
メリディアン・エトワール
パリ (フランス)

お知らせと最新情報 (定期更新) は、下記の大会ウェブサイトをご覧ください。

www.iftaparis2008.com

ご連絡: info@iftaparis2008.com

IFTA 会員協会

| | | |
|---|--------|---------------------|
| アルゼンチン | AAAT | www.aaat.org.ar |
| Asociacion Argentina de Analistas Tecnicos | | |
| オーストラリア | ATAA | www.ataa.com.au |
| Australian Technical Analysts Association | | |
| カナダ | CSTA | www.csta.org |
| Canadian Society of Technical Analysts | | |
| チェコ | CNATA | (新興協会) |
| Czech National Association of Technical Analysts | | |
| 東アフリカ | EATAS | (新興協会) |
| East African Technical Analysis Society | | |
| エジプト | ESTA | www.estaegypt.org |
| Egyptian Society of Technical Analysts | | |
| フランス | AFATE | www.afate.com |
| Association Française des Analystes Techniques | | |
| ドイツ | VTAD | www.vtad.de |
| Vereinigung der Technischer Analysten Deutschlands e.V. | | |
| インドネシア | AATI | |
| Asosiasi Analis Teknikal Indonesia) | | |
| イタリア | SIAT | www.siat.org |
| Società Italiana di Analisi Tecnica | | |
| 日本 | NTAA | www.ntaa.org.jp |
| Nippon Technical Analysts Association | | |
| ヨルダン | JTAS | www.jtas-jordan.com |
| Jordan Technical Analysts Society | | |
| クウェート | KTAA | (新興協会) |
| Kuwait Technical Analysis Association | | |
| オランダ | DCTA | |
| Dutch Commission of Technical Analysis | | |
| ニュージーランド | STANZ | www.stanz.co.nz |
| Society of Technical Analysts of New Zealand | | |
| パキスタン | ATAP | (新興協会) |
| Association of Technical Analysts Pakistan | | |
| ルーマニア | AATROM | (新興協会) |
| Asociatia Analistilor Tehnici din Romania | | |
| ロシア | RSTA | www.mfd.msk.ru/ota |
| Russian Society of Technical Analysts | | |
| 北欧 | STAF | www.staf.nu |
| Skandinavians Tekniska Analytikers Förening | | |
| シンガポール | TASS | www.tass.org.sg |
| Technical Analysts Society (Singapore) | | |
| 南アフリカ | TASSA | (新興協会) |
| Technical Analysts Society of Southern Africa | | |
| スペイン | AEAT | www.aeatonline.com |
| Asociación Española de Analistas Técnicos | | |
| スイス | SAMT | www.samt-org.ch |
| Swiss Association of Market Technicians | | |
| 英国 | STA | www.sta-uk.org |
| Society of Technical Analysts Ltd. | | |
| 米国 | TSAASF | www.tsaasf.org |
| Technical Securities Analysts Association | | |

米国 — AAPTA www.aapta-us.org
 American Association of Professional Technical Analysts

2008年理事会

執行委員会
 委員長
 エレイン・クヌース (Elaine Knuth SAMT)
 Eメール: elknuth@gmail.com

副理事長 — アメリカ大陸
 ヘンリー・ブルーデン、Ph.D. (Henry Pruden TSAASF)
 電話: +1 415 442-6583
 Eメール: hpruden@ggu.edu

副委員長 — ヨーロッパ
 アクセル・ルドルフ (Axel Rudolph STA)
 Eメール: axel.rudolph@dowjones.com

副委員長 — アジア
 羽田重年 (NTAA)
 Eメール: shaneda1@nifty.com

副委員長 — 中東、アフリカ
 アイマン・ウェイクト (Ayman Waked ESTA)
 Eメール: aymanwaked@yahoo.com.sg

財務担当理事
 ピーター・ボンティキス (Peter Pontikis ATAA)
 電話: +61 041 1722 148
 Eメール: Peter.Pontikis@suncorp.com.au

書記
 ブルーノ・エスティア、MFTA (Bruno Estier SAMT)
 電話: +41 22 346 9104
 Eメール: bruno.estier@dplanet.ch

中核業務委員会
 学術連絡委員会委員長
 ヘンリー・ブルーデン、Ph.D. (Henry Pruden TSAASF)
 電話: +1 415 442-6583
 Eメール: hpruden@ggu.edu

認定委員会委員長
 ラリー・ロヴレンキック (Larry Lovrencic ATAA)
 電話: +61 2 955 55287
 Eメール: lv@firstpacific.net

教育 / 知識体系委員会委員長
 クロード・マターン、CFTe、MFTA (Claude Mattern AFATE)
 電話: +33 1 43 16 98 39
 Eメール: claude.mattern@bnpparibas.com

倫理委員会委員長
 ティモシー・ブラッドリー (Timothy Bradley TSAASF)
 Eメール: timb@dynamictradingmgt.com

情報管理委員会委員長
 ベロニク・ラシンスキー、CMT (Veronique Lashinski AAPTA)
 Eメール: Veronique.Lashinski@fimat.com

会報委員会委員長
 レジャイナ・ミーニ、CTFe (Regina Meani — STA、ATAA)
 電話: +61 2 9439 3192
 Eメール: rjcmeani@dx.com.au

監理委員会
 会議諮問委員会委員長
 ティモシー・ブラッドリー (Timothy Bradley TSAASF)
 Eメール: timb@dynamictradingmgt.com

IFTA会議 (2008年) 実行委員長
 ジュリアン・ネベンツァール (Julien Nebenzahl AFATE)
 Eメール: nebenzahl@daybyday-pro.com

財務委員会委員長
 サイモン・ウォレン、MSTA (Simon Warren STA)
 Eメール: warrens@bupa.com

加盟・新規開拓委員会委員長
 アレックス・ダグラス (Alex Douglas TASS)
 Eメール: alex@alexdouglas.com

指名委員会委員長
 ブルーノ・エスティア、MFTA (Bruno Estier SAMT)
 電話: +41 22 346 9104
 Eメール: bruno.estier@dplanet.ch

無任所の理事
 グレゴール・パウアー、Ph.D. (Gregor Bauer VTAD)
 Eメール: gregor.bauer@t-online.de

ジェラルド・ビュトリモビッツ、Ph.D. (Gerald Butrimovitz TSAASF)
 Eメール: tsaagb@ix.netcom.com

ジュリアス・ド・ケンペナール (Julius de Kempenaar DCTA)
 Eメール: jkem@kempen.nl

マーク・ミシェル (Marc Michiels AEAT)
 Eメール: mmichiels@ets.es

マウリツィオ・ミラーノ (Maurizio Milano SIAT)
 Eメール: Maurizio.milano@sella.it

サーレ・ナッサー、CMT (Saleh Nasser ESTA)
 Eメール: snaser@link.net

大瀧太市 (日本)
 Eメール: office@ntaa.gr.jp

岡本博、MFTA (NTAA)
 Eメール: okamoto3genki@horae.dti.ne.jp

アントネッラ・サバティーニ (Antonella Sabatini SIAT)
 Eメール: as@alum.mit.edu

ウルフ・サンドバーグ (Ulf Sandberg VTAD)
 Eメール: Ulf.Sandberg@dzbank.de

ビル・シャープ (前理事長) (Bill Sharp CSTA)
 Eメール: bsharp@valern.com

アダム・ソラブ (Adam Sorab STA)
 Eメール: Adam.Sorab@cqsm.com

マックス・フォン・リヒテンシュタイン (Max von Liechtenstein STAF)
 Eメール: Max.Liechtenstein@michaelostlund.com

ワン・タオ (Wang Tao TASS)
 Eメール: tasstao@yahoo.com.sg

IFTA 本部

International Federation of Technical Analysts
 15245 Shady Grove Road, Suite 130
 Rockville, MD 20850 USA

電話 +1 240-404-6508
 FAX : +1 301-990-9771
 Eメール: admin@ifta.org

2009 年度版 IFTA ジャーナル

投稿のお願い

IFTAジャーナルは、国際テクニカルアナリスト連盟が発刊した優れた年刊物です。IFTA会員から成る委員会が編纂しています。IFTAジャーナルは、あらゆる領域で活躍するテクニカル分析の実務家、学者、学習者にとって必須の読み物です。テクニカル分析に関心を持つすべての人にとって、豊かな内容を持つ優れた情報源です。

信頼と認知

IFTAジャーナルは、グローバルな市場のテクニカル分析の発展を題材として扱う唯一のテクニカル分析の国際誌であり、すべての大陸からオリジナルの原稿が寄せられています。本誌は、世界中の一線級の実務家や研究者が手にします。

書籍の形式に製本されるIFTAジャーナルは、メジャーな専門資料です。本誌がIFTAのウェブサイトでもオンライン出版されると、お寄せいただいたオリジナル原稿が、将来の情報資源としてテクニカルアナリストのグローバル・コミュニティに届くことになります。2008/09年度版は10,000部が出版され、全世界に配布されます。

トピック

IFTAでは、テクニカル分析の分野に直接または間接的に影響を与える出来事を紹介する原稿を募集しています。たとえば、次のような分野が対象です。

- 基本的な市場分析手法
- 指標 センチメント、出来高分析、モメンタム、その他
- グローバルおよびイントラグローバルなTA

- TAのスタイル
- データ
- 投資コミュニティにおけるTAの役割の変化

特に、以前に検討された例のない分野を対象とする寄稿、またはテクニカル分析に付随するトピックを希望しています。

上記のリストは指針に過ぎず、決してこれらに限定されません。TAのあらゆる領域およびそれと関連分野から、新しく画期的なアイデアを取り込むことのできるジャーナルにしたいと願っております。

寄稿の方法

登録および寄稿はwww.ifta.orgから、または編集者のレジャイナ・ミーニ (Regina Meani rjcmeani@idx.com.au) までEメールでお願いします。

言語

原稿は必ず英語 (イギリス文法) でお願いします。

文体

論文スタイルでお願いします。下記のリンクを参考にしてください。

<http://www.cse.unsw.edu.au/~gernot/style-guide.html>

参照先

原稿で言及する文献はすべて、文献目録と後注で出典先を適切に示してください。脚注は不可です。下記の指針に従ってください。

http://www.usq.edu.au/library/help/ehelp/ref_guides/oxford.htm
<http://w2.vu.edu.au/LIBRARY/infolink/webref/styles/files/oxford.pdf>

参考文献と引用の正確を期することは、著者の責任です。参考文献と引用については、提出前に著者が十分にチェックしてください。

参考文献はすべて後注としてください。参考文献または文献目録を別途のリストとして提出しないでください。

図、チャート、表

イラストとチャートには、通し番号 (Figure xx) を付け、出典 (引用の場合) を記してください。表には表番号 (Table xx) を付け、出典を記してください。

原稿の長さ

原稿は約1200 ~ 3000ワードの本文に裏付けとなるグラフやチャートを添えてください。

形式

MS ワードまたはその他のテキスト形式でお願いします。PDF 形式は不可です。チャートとグラフは .gif または .jpeg 形式でも構いませんが、印刷用として必要となる場合が考えられますので、.tif 形式でも保存しておかれるようお願いいたします。原稿を裏付けるために Excel のスプレッドシートを添えていただいても結構です。

2009 年度版 IFTA ジャーナル 投稿のお願い (続き)

編集スケジュール

| | |
|----------|-----------------|
| 2月29日 | 「投稿のお願い」を配布 |
| 5月31日 | すべての原稿の締切 |
| 5月31日 | 校閲のために配布 |
| 7月30日 | 校閲者からのコメントが編集者に |
| 8月15日 | 採否の通知 |
| 8月29日 | 印刷原稿の提出 |
| 2008年10月 | 印刷版の出版、世界中に配布 |
| 2009年4月 | ウェブ出版 |

ライセンスと著作権

原稿の著者は必ず、本書の末尾にある『出版契約』に署名してください(『出版契約』を参照)。

ウェブサイトでも出版する場合があります。その場合は、原稿を Creative Commons Attribution - NonCommercial 3.0

(<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/>) にアップしていただく必要があります。

別のライセンスが記されていない限り、原稿はこのライセンスに基づいているものと想定させていただきます。

原稿の選定

原稿は、内容に基づいてIFTAジャーナルの編集委員会が選定します。すべての原稿を採用することはできませんので、あらかじめご了承ください。原稿の数と質、および編集者の裁定によっては、選定結果を交渉によって変更できない場合がございます。

国際テクニカルアナリスト連盟はボランティアによって組織され、運営され、会員協会によって支えられています。原稿料をお支払いすることはできません。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

報酬

国際テクニカルアナリスト連盟はボランティアによって組織され、運営され、会員協会によって支えられています。原稿料をお支払いすることはできません。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

質問

詳細については、journal@ifta.org までお問い合わせください。

出版契約

以下は、著者(および共著者)

が執筆した原稿について、著者(および共著者)と国際テクニカルアナリスト連盟

の間で締結される契約である。

著者の権利付与

著者(および共著者)は出版者に当該著作の排他的最優先出版権を付与し、また、その他の方法で、著作権が有効な期間、あらゆる媒体を使用して、あらゆる言語で、世界中で当該著作を使用する非排他的ライセンスを付与する。

出版者は当該原稿をIFTAジャーナルに発表することに同意する。

出版者は原稿に、「著作権は [著者(および共著者)の名前] に帰属します」との表記を含めるものとする。原稿の読者は、著作権所有者の許可を得ずに複製を作成することができる。ただし、複製に著者と出版者の名前が明記され、複製が非営利の教育目的に使用される場合に限る。

著者(および共著者)に帰属する著作権の所有権

原稿の著作権は、引き続き著者(および共著者)に帰属する。

原作者の保証

著者(および共著者)は出版者に対し、原稿がオリジナルであり、自身が単独の著者(および共著者)であり、本契約を結ぶ全権を有することを保証する。著者(および共著者)は、当該保証の一切に関して、一切の申し立てまたは訴訟の最終判決後に、出版者に対し、損失およびその他の経費のすべてを補償する。かかる経費には、妥当な弁護士費用が含まれる。

著者(および共著者)名

著者(および共著者)署名

日付

[承諾いただけましたら、『出版契約』の必要事項をすべてご記入の上、FAXまたはEメールにて下記までご送信ください。IFTA本部 FAX: +1 301-990-9771 または Eメール: admin@ifta.org]

編集および読者層のプロフィール

年に一度刊行されるIFTAジャーナルには、金融および商品市場のテクニカル分析に関連する広範囲にわたるトピックをカバーする論文や記事が掲載されます。内容は十分な裏付けを持つ独創的なものばかりです。ジャーナルは、IFTA会員や関係者にテクニカル分析(TA)の継続教育を提供することを目的としています。幅広い内容の論説は、テクニカル分析の最新情報や優れた研究を絶えず仕入れておくために役立ちます。

IFTAジャーナルは、世界の金融界で働く専門家やTAに関心を持つ人々を対象に刊行されているTAの国際誌としては唯一のものであります。購読者は、世界の金融界で働くアナリスト、ファンドマネージャ、フィナンシャルライター、その他の意思決定者です。

IFTAジャーナルは、毎年行われるIFTA国際会議で7000人以上の各国代表団と会員に配布されている主要な印刷物です。

IFTA ジャーナルは、選ばれたミーティングやセミナーで紹介・配布され、お客様のメッセージをしっかりと広め、認知度を高めます。

発行部数と読者層

総発行部数 10,000部(約7000部が会費による)

配信範囲 全世界

対象読者層 法人所属のアナリスト、アカウントマネージャ、ファン
ドマネージャ、投資家、学生

刊行予定 2008年秋

編集委員会とスタッフ

編集長 レジャイナ・ミーニ

編集者 ロベルト・バルガス

編集者 ロルフ・ヴェッツァー

スタッフ リンダ・バーネティック

所属組織

国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA)

15245 Shady Grove Road, Suite 130

Rockville, MD 20850 USA

電話 +1 (240) 404-6508

Eメール Journal@ifta.org

広告料(価格は米ドル)

基本単位料金、白黒

| | |
|---------|-------------|
| 全ページ | \$ 1,200.00 |
| 2/3 ページ | \$1,056.00 |
| 1/2 ページ | \$823.00 |
| 1/3 ページ | \$545.00 |
| 1/4 ページ | \$300.00 |

指定位置料金

| | |
|---------------|------------|
| 裏表紙(表4) | \$1,800.00 |
| インサイドバック(表3) | \$1,500.00 |
| インサイドフロント(表2) | \$1,300.00 |

カラー割増: 0.08%

2009年号の投稿締切日

2008年5月31日

主な規格

全ページ広告の判型 = 215 x 280mm (8.5 x 11 インチ) 解像度300dpi の JPEG、Tiff、EPS、または PDF ファイルで受け付け可能です。

印刷

完全製本のジャーナル / 書籍形式、215 mm x 280 mm (8.5 x 11 インチ)、80# グロスウェイト。表紙には湿式コーティング(クリアウォーターベースのコーティング。艶仕上げによって保護が強化され、ジャーナルも印刷される広告も見栄えがよくなります。)

その他

IFTAジャーナルの広告における原則

IFTA編集委員会が合同で策定したこの原則は、最高の広告倫理基準を確実に守るために、またIFTAの印刷と電子出版に掲載する広告の製品とサービスの適格性を判断するために、国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)が適用するものです。

方針としてIFTAは、広告掲載がIFTAの使命または目的の妨害にならない場合に、自身の出版物内の広告スペースを販売します。

IFTAの出版物における広告の体裁は、IFTAが保証するものでも承認するものでもありません。

広告承認の方針

広告の原稿はすべて書面で提出し、IFTAの承認を受ける必要があります。差別的な広告は掲載できません。また、すべての適用法令に準拠する必要があります。IFTAは自身の裁量で広告の謝絶、回収、複写 / 編集を行う権利を留保します。間違いを避けるために細心の注意を払いますが、書き誤りや印刷装置のエラーについては責任を負いません。

お支払い

お支払いは必ず、小切手、クレジットカード(Visa、MasterCard)または電送金でお願いします。銀行口座の情報は、要請に応じてお知らせします。

解約と変更

ご注文を確認する受け取り通知をお送りします。お申し込みの広告と日程が正しいことをご確認いただく必要があります。変更、キャンセル、または訂正については、提出締切日より前に、書面で、FAX、電子メール、または郵便にてIFTAにお知らせください。

ご注文、資料、お支払い

ご注文、資料、お支払い、お問い合わせ / ご連絡は、上記のIFTAの連絡先をお願いいたします。